

# 令和6（2024）年度入学生用 『演奏コース選抜試験 課題曲』

## 【声楽】

オペラアリア、またはそれに準ずる歌曲の中から、10分程度までの任意の1曲を演奏する。

—注意事項—

- ①入学後、氏名を記入し蛇腹折りに製本した伴奏楽譜を、1部提出すること。
- ②歌詞は原語により、暗譜で演奏すること。

## 【ピアノ】

「i-a. 練習曲」「i-b. バッハ」「ii. ソナタ」の課題曲の中からそれぞれ1曲ずつ任意選択して演奏すること。

- i-a. F.ショパン：練習曲op.10,op.25（ただし、Op.10-6,Op.25-7を除く。）
- i-b. J.S.バッハ：平均律第1巻または第2巻のプレリュードとフーガ
- ii. L.v.ベートーヴェン：ソナタ：第1楽章または最終楽章  
（ただし、Op.2-1、Op.10-1、Op.13、Op.14の2曲、Op.49の2曲、Op.79、及びOp.26・Op27-1・Op27-2の第1楽章、Op.90の第2楽章、ならびにOp.101以降の作品を除く）

—注意事項—

すべての課題曲は、繰り返し無しで暗譜で演奏すること。

## 【管弦打】

専攻楽器により、「i-a」「i-b」「ii」の3つ、または「i」「ii」の2つの課題を、それぞれ演奏すること。

—注意事項—

- ①選択した曲の楽譜を2部（コピー可）に名前を記入し、提出すること。
  - ②全ての曲について繰り返しなしで演奏すること。
  - ③任意の楽曲は、必ず独奏またはピアノ伴奏付きで演奏する楽曲であること。練習曲も可。  
ただし、当日ピアノ伴奏はつかない。
- ※試験範囲は、全て演奏すること。任意のカットは認めない。  
ただし、審査時間の都合上、試験官の指示により演奏時間が短縮される場合があるが、審査結果に影響は全くない。

## フルート

- i-a) 全調スケール（2オクターブ）より、長短1調ずつの2調を当日指定する。
- i-b) A.フェルステナウ「音の花束（ブーケ・デ・トーン）より、任意の1曲
- ii) 以下のAまたはBの課題を選択して演奏すること  
A：W.A.モーツァルトフルート協奏曲ニ長調Kv.314（出版社指定なし）  
第1楽章 第33小節～第120小節1拍目まで。  
カデンツァを演奏すること。カデンツァは自由（自作可）。  
第2楽章 第11小節～第40小節1拍目まで。  
B：Golden Age of the Flutists（全音楽譜出版社刊）  
Vol.1～Vol.3より、任意の1曲

## オーボエ

- i) 全調スケールより、2調を当日指定する。短調は和声的短音階に限る。暗譜で演奏のこと。
- ii) F.J.ハイドン：Concerto ハ長調 第1楽章（カデンツァなし）

## クラリネット

- i -a) R.アイヒラー「クラリネットのためのスケール（“Scales for clarinet” 国立音楽大学出版社）」より、長短1調ずつの2調を当日指定する（練習番号1、スラーのみ）
- i -b) C.ローズ：32のエチュード（Leduc版）No.1～16より、任意の1曲またはこれに準ずる難易度のもの。
- ii) 以下のAまたはBの課題を選択して演奏すること。
  - A：C.M.vウェーバー：クラリネット小協奏曲 ハ短調 作品26（出版社は自由）
  - B：C.M.vウェーバー：クラリネット協奏曲 第1番 ヘ短調 作品73より、第1楽章（ベールマンのカデンツァを含む。出版社は自由）またはこれに準ずる難易度のもの。

## バスクラリネット

（楽器は、LowC管、LowEs管、どちらでも良い）

- i -a) 全調スケールより、長短各1調ずつの2調を当日指定する。
- i -b) C.ローズ：32のエチュード（Leduc版）より、No.2またはこれに準ずる難易度のもの。
- ii) J.ハーデルマン：バスクラリネット・オン・ザ・スポットライトより、第1楽章および第3楽章（出版社：De Haske）（演奏箇所は、当日指定する）またはこれに準ずる難易度のもの。

## ファゴット

- i) 全調スケール（2オクターブ）より、長短各1調ずつの2調を当日指定する。
- ii) ヴァイセンボーン：ファゴット練習曲 第2巻 Op.8 No.1～No.15より、当日1曲を指定する。

## サクソフォン

- i -a) 全調スケールより、長短各1調ずつの2調を当日指定する。
- i -b) フェルリング：48の練習曲（ミュール編、Leduc版）より、任意の奇数番号と偶数番号の曲をそれぞれ1曲ずつ任意に選択
- ii) グラズノフ：サクソフォン協奏曲 変ホ長調（Leduc版）練習番号1から16まで

## トランペット

- i -a) 全調スケールより、2調を当日指定する。（必ずしも平行調とは限らない）
- i -b) コップラッシュ：60の練習曲第1巻のNo.16～No.30の中より、当日指定する。
- ii) アーバン：金管教本（全音楽譜出版社刊）第2巻より、No.3 ファンタジーブリランテ（イントロダクション、テーマ、ヴァリエーション1および2）

## ホルン

- i -a) 音階 A、B $\flat$ 、H、C、Cis、D (実音、2オクターブ) より、  
長短1調ずつの2調を当日指定する。暗譜で演奏のこと。
- i -b) G.コップラッシュ：60の練習曲  
No.6～No.9、No.15の中より、当日指定する。繰り返し（リピート）なし  
(出版社：Carl Fisher または全音楽譜出版社)
- ii) W.A.モーツァルト：ホルン協奏曲第3番 変ホ長調 Kv.447 第1楽章  
(カデンツァなし、出版社の指定なし)

## ユーフォニアム

- i) 全調スケール（2オクターブ）より、長短1調ずつの2調を当日指定する。  
短調は旋律的短音階に限る。（必ずしも平行調とは限らない）
- ii) アントニオ・カプツィ：「アンダンテとロンド」

## トロンボーン

(楽器は、テナートロンボーンまたはバストロンボーンのいずれかを選択する)

### 《テナートロンボーン》

- i -a) 全調スケール（2オクターブ）より、長短1調ずつの2調を当日指定する。  
短調は旋律的短音階に限る。  
次の譜例の形式で演奏すること。

例)



- i -b) G.コップラッシュ：60の練習曲 No.19～No.21より、当日指定する。
- ii) J.ロッシュ：メロディアスエチュードより、No.11

### 《バストロンボーン》

- i -a) 全調スケール（2オクターブ）より、長短1調ずつの2調を当日指定する。  
短調は旋律的短音階に限る。  
テナートロンボーンで示した譜例の形式で演奏すること。
- i -b) G.コップラッシュ：60の練習曲より  
No.11（原調）、No.14（オクターブ下）、No.21（原調）から、当日指定する。
- ii) J.ロッシュ：メロディアスエチュードより、No.4  
(1オクターブ下げず、記譜通りに演奏すること)

## チューバ

- i -a) 全調スケール（2オクターブ）より、長短1調ずつの2調を当日指定する。  
暗譜で演奏のこと。
- i -b) G.コップラッシュ：60の練習曲第1巻 No.3～No.10より、1曲を当日指定する。
- ii) M.ボルドーニ：チューバのための43のベルカントスタディ No.1～No.5 より、  
1曲を当日指定する。

## 打楽器

（楽器は、マリンバまたは小太鼓のいずれかを選択する）

### 《マリンバ》

- i -a) 長調と平行短調のスケール（2オクターブ。＃、♭4つまで）のスケールより、  
2調を当日指定する。
- i -b) M.ゴールドンバーグ：モダン・スクール シロフォン・マリンバ・ヴィブラフォン用  
（鍵盤打楽器教則本）の39のエチュードより、任意の1曲
- ii) 任意の楽曲

### 《小太鼓》

- i -a) 2つ打ち、および5つ打ちおよびロール（P<ff>P）
- i -b) A.J.Cirone：Portraits in Rhythm より、No.13
- ii) 任意の楽曲

## ヴァイオリン

- i -a) J.S.バッハ：無伴奏ソナタまたはパルティータの中から任意の楽曲
- i -b) 次のカプリス（奇想曲）より、任意の1曲  
N.パガニーニ：Op.1  
J.ドント：Op.35
- ii) ロマン派以降のヴァイオリン協奏曲の第1楽章または最終楽章

## コントラバス

- i -a) 任意の調による2オクターブの音階
- i -b) F.シマンデル：30の練習曲 No.1～No.5より、任意の1曲
- ii) 以下のAまたはBの課題を選択して演奏すること  
A：任意のソナタの第1・2楽章  
B：任意の協奏曲の第1楽章